

対象	中学校 3 学年以上
教科	保健体育科
該当 単元	中学 3 年 「健康な生活と 病気の予防」 ・個人の健康を守る 社会の取り組み
教科書	大日本図書等
掲載日	2017. 9. 19. 朝刊 知多版 14 面

認知症の症状 VRで体験 東海



VRで認知症の症状を体験する参加者＝東海市芸術劇場で

認知症の正しい知識を持ってもらう東海青年会議所主催の催し「オレンジフェスティバル」が十八日、東海市の名鉄太田川駅周辺であった。同市の知多メディアネットワークのオリジナル健康体験、VR（仮想現実）

（実）の技術を使った認知症体験会などがあり、多くの人でにぎわった。

認知症体験会は、首都圏でサービス付き高齢者向け住宅を運営する「シルバークラウド」（千葉県浦安市）の下河原忠道代表が講師を務めた。下河原さんは「認知症は単なる記憶障害ではない。人それぞれ症状が全然違う」と訴えた。

参加者はゴーグル型のVR機器を使い、空間認知能力が低くなった人の視界を体験。思わず「怖い」と叫ぶ人もいた。（辻晃平）

問1：何を目的として「オレンジフェスティバル」は開かれたのでしょうか。

【 _____ 】ため

問2：「オレンジフェスティバル」では、VR体験の他にどんな催しが行われましたか。 【 _____ 】

問3：VR機器を使った空間認知能力が低くなった人の視界体験のよさは、どんな点だと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

発展：認知症に対して社会はどんな取り組みをするとよいか仲間と話し合おう。

自分：

仲間：